

◎ ネイチャーなら

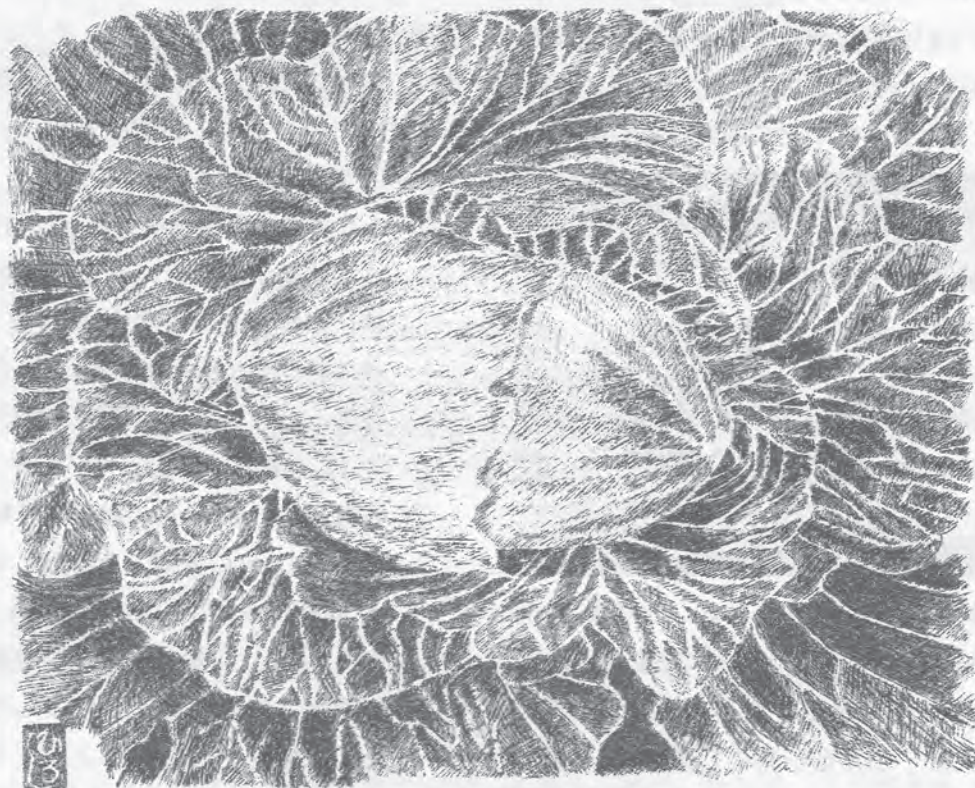
《わたしたちは大和の自然を愛します》

発行2011年6月1日

6月号 第113号

奈良・人と自然の会

会長 阿部和生



- * 総会を終えて
- * 新会員です「よろしく」①
- * 佐保路深堀り探訪<4月例会>
- * ならやまくレポート・里山林自然観察>・佐保自然の森
- * ナスクラブかテントウムシか、どちらが勝つ? 「昆虫講座」⑧
- * 小さいけどキツツキです・地域情報
- * 「自然をいただきま〜す」・癒しの道・自然俳句・「今は昔」
- * 6・7月の行事案内・・・「矢田丘陵」「柳生街道」「鳴川園地」
- * 今月の表紙・ペン画によせて

	1
2	3
	4
5	7
	8
	9
10	12
13	15
	15

第10回奈良人と自然の会

総会を終えて

会長 阿部 和生

5月14日 好天気の中多数のご出席を頂き 第10回総会を開催 終了いたしました。各議案とも審議の結果承認され 任期2年目のスタートを切ることとなりました。

幹事は引き続き全員がそれぞれの任にあたりますが、副会長を 鈴木末一様に就任をお願いし 豊島様との二人副会長で臨むことと致しましたのでご報告いたします。



幹事一同 知恵を出し合い魅力ある企画・内容を打ち出しスムーズな実践に結び付けたいと思います。会員の皆様の積極的なご参加・ご意見を得て 明るく！楽しく！元気に！そして無理せず 実行してゆきたいと思います。

私達の団体は、善意の、信頼できる仲間の集団です。そして資質の高い皆さんが集まっておられます。不正は許されませんが、ミッションから外れなければ、瑣末にとらわれず何事にも おおらかな団体、和気あいあいの団体でありたいと思います。10年目の節目に、今一度振り返っておきたいと思います。

会計規模が、創設期と違って 大きな

り、それに伴う会計処理方法を、今一度会員諸兄の叡智を借りまして構築したいと考えています。幸いにも22年度の会計処理内容が、詳細に把握できる計表が作成されていますので、それに基づく処理方法を工夫することで、解決できると考えています。

例会・記念オプション事業、ならやまプロジェクト、佐保自然の森、自然観察チーム、対外的なイベント参加等と実践活動の場所は、広がってきています。その中で今年は、10周年記念の年でもあり 重点事業3つをピックアップし内容を充実させ実施したいと考えています。

- ① これまでの進展を振り返り、それをテコに前進するための「赤沢自然休養林一泊研修（木曾路）」を実施する。バス旅行となりますが、多くの会員の皆様のご参加を切望致します。10月17、18日を予定しています。
- ② 佐保自然の森1haの植樹・自転車道路脇1000mの植樹を計画しています。国際森林年でもある平成23年に、奈良県では、「第35回全国育樹祭」が実施されます。これに呼応した企画として植樹を行い「会」としても将来につながる記念植樹として残したいと考えています。
- ③ 記念講演会としての新春の開催
それぞれの詳細は、後日会報誌を通してご案内しますが、通常の実践活動、対外的なイベント実施 と共に行うものです。

平成23年度も多忙な会となりますが皆さま方の積極的なご参加ご協力をよろしくお願いたします。

新会員です

よろしく ①

入会の動機



永淵 元弘

私は、古希も過ぎていまして、いまでも設計コンサルタントに所属していますが、現役の時と同程度の動きが必要と考え奈良・人と自然の会に入会を決意しました。趣味としましては以前ゴルフを少しやっていたのですが、お金と体力が不足してきましたので現在はやめました。——他に理由あり。特技も何かないかと言われれば、子供の頃から水鉄砲や竹コブターなどを作るのが好きです。

現在は作っていません。入会の動機としては活動場所まで徒歩か自転車か公共交通機関(マイカーでなく)での利用で目的地にとどき活動ができることが選択の第一でした。これから先、長く会員になりたいと思いますから、よろしくをお願いします。



私の自然との関り

土居 通子

私の自然との関りは、俳句に始まります。吟行俳句に行きますと、野山の草花、樹々、神社仏閣等、今まで素通りしていたもの一つ一つを見たり、感じたりしたものを句にします。例えば、草花を句にしようとする、名前が分からないと句になりません。また、その特色を捉えなくてはなりません。実際に見ることが大事なのです。そこでまず、市民大学に一年、翌年、明日香里山クラブに一年通いました。現在は、明日香里山クラブ員として、自然観察会に参加しております。自然に触れると、心が癒されます。また、ひたすら歩くことによって、心が軽くなってきます。奈良近辺には、山の辺の道、奈良公園、室生寺や明日香等、散策するのにいいところが沢山あります。主人と二人で、ぶらりと、よく出かけます。一日でも長く元気に歩くことが出来るようにと願っております。

富井忠雄ですよろしく

私は、世界遺産の法隆寺の近くで住んでいて、歴史や文化そして自然豊かな所が好きでよく散歩をしています。

シニア大学を卒業して1カ月が過ぎて、新しく奈良・人と自然の会のサークルに入り2-3回参加して、先輩達の親切・丁寧な指導を受け有難く思っています。私がやりたい事など自由に選択出来、楽しく活動させてもらっています。これからも好きな、農園・里山・歴史文化などにたずさわって行きたいと思います。

足手まといいにならないように頑張ります。

宜しく願いいたします。



大切なならやまの里山林

金子 紅

つらい時はいつも、遊歩道を散歩して慰められてきました。ならやまの里山林は私にとってとても大切な存在です。でも、ときどきふと、怖くなります。自分が、都合のいいように自然を眺めているだけなのかも知れないと。人の活動によって追いつめられている動植物は、年々増えているそうです。諸先輩方のご教示を仰ぎながら、豊かな自然環境のために私も努力したいと思います。非力ではありますが、どうぞよろしく願いいたします。

はじめまして

橋木 文雄

生駒の高山町に移り住んで27年、退職して3年です。

高山は、茶筌で有名です。全国の90%を生産しているとか。冬の時期は、淡竹の寒干しが見られます。くろんど池や大阪府民の森に近くて、まだ里山の景観が残っています。

この度、里山の整備・景観づくりを進めている皆さんの活動に参加させて頂くことになりました。今後ともよろしく願いいたします。

里山林の朝

木村 宥子

3月末のある早朝、きれいに整備された山に入ってみた。

以前は細い道はあったがどっちを向いてもやぶで全く見通しはきかず、木々もあちを向きこっちに倒れ掛かり、枯れた松には小さい穴がたくさんあいていた。

はるか上空に朝日を受けた葉が輝き、鶯の声とともに24号線を走る車の音が遠くかすかに聞こえていた。

しかし、今日はどうだろう！やぶはきれいに刈り取られ木々は真っ直ぐにのび、ずっと奥まで美しく見渡せる。朝日の光が梢からふりそそぎ落ち葉の裏までも明るくしている。

こんなに気持ちよくするために私も少し役立っていると思うことは嬉しかった。

美しい朝は賑やかだった。やたらに車と電車が私の近くを行き来し、その隙間からかすかに鶯の声がする。あれ？24号線はこんなに近かったかしら。もしかして場所を間違えたのかな？深呼吸をしてみた。少し排気ガスのにおいがした。



自己紹介

岡崎節子

私は自然の会の近くで野菜作り、収穫の嬉しさ、作物の成長の難しさ等の日々の生活を送っていた所、昨年主人が突然倒れて永遠の眠りに・・・

畑の後片付けをしている所、会長さんより畑の今後の使用の件で声を掛けられまして、話をしている内に、会のお話もして頂き、会長さんは会に入会しても、自分のペース無理のない参加の言葉が入会の動機の一歩に・・・私自身主婦業一筋で過ごしてきました。私は趣味、特技等の持ち合わせも無く、会の活動に入会すること自体何事も初めて、私は色んな面でも不安と勇気が入り乱れて居ます。

これからは、人様の力もお借りして努力、努力？ですね。何も分かりませんが、ご指導の程宜しく願います。

憩のウォーキングロード

田中克治

昨年12月に当会に入会させて頂きました。この里山林は私にとりウォーキングロード定番ルートの一つであり、一週間歩かないと、何か忘れものをした様な気持となる欠かせない道です。ここ数年来歩く度にキレイな姿に変貌して行くのを感じながら皆様に感謝の気持ちを込めてお手伝いに微力を尽くしたいと思っております。

私の夢は大切なこの里山を四季折々の樹木、花、野菜、作物が実り、水と緑と太陽が輝く奈良を代表する憩のウォーキング（サイクリング）ロードとすることです。



「奈良・人と自然の会・入会して一言」

田中克彦

大阪市内で生まれ育ち、今は自然が少なくなっている時世、自然保護や環境問題が叫ばれる様になってきた昨今。山 花木 水の景を織りなす、平城山の自然は大阪市内で味わえない何かがある。歳の加算につれ本当の自然を探すようになって来て、里山の自然が多く残る、奈良市内で こんなスペースが在るとは知りませんでした。四季様々な表情に会える事が楽しみです。

さて、自分の「趣味」「特技」？ 長年、小さな商いを営んで来た為、時間に追われ今何か考えて見ると、是だと言える答えは無いようです。熱帯魚、金魚、特にメダカは今も多く飼育しています。蕎麦、うどん打ち、盆栽、工作、日曜大工、ウォーキング、下手な横好き、色々是からも少し趣味として続けたいです。



佐保路の深掘り歴史探訪

川井 秀夫

- | | | | |
|-------|----------|-------|-------------|
| 1 日時 | 4月19日(火) | 2 天候 | 雷雨のち曇り一時小雨 |
| 3 参加者 | 27名 | 4 世話人 | 鈴木 末一・古川 祐司 |
- (順不同) 弓場・弓場(京)・吉村・萱野・八木・田中・西谷・中西・高本・川井・藤田・菊川・宮沢・羽尻・勝田・勝田(緑)・森・川崎・村上・青木・水本・堀川・永井・桜木・鈴木(経)・鈴木・古川

近鉄 奈良駅集合。生憎と春雷のお出迎え、出足を殺される。世話人さんの準備された貴重な資料を辿り、まずは大仏鉄道の遺構を訪ねる。佐保川に発掘された橋脚跡、住宅の排水溝にある赤レンガの構築跡、それぞれに感嘆しきり。

興福院(門跡尼寺)を見過ごし、大伴家持の歌碑を見て常陸神社に入る。丁度祭礼日とて多くの参詣者で賑わう。小さな五色幟が足元に続き安産祈願の思いが伝わる。

更に狭岡神社へ。佐保姫(垂仁天皇のお后)ゆかりの伝承地。佐保姫は春の女神として俳句の季語として知られるが、兄の権力闘争に巻き込まれ、悲劇のロマンが胸を打つ。

このあたり、歴史のみちとは言え、数々の古代ロマンが興味をそそる。古都奈良の裏街道と言うべきか。

歩を進める。法華寺界限。24号線に面して顕彰のしるべが建つ。芸亭(うんてい)跡と言う。日本最古の図書館のあった伝承地であり、側に一条高校がある。

ウワナベ古墳の池畔で昼食。雨も上がり春風が心地よい。

海龍王寺に入る。古刹である。731年光明子の建立。のち高僧玄昉(唐より海龍王経を唱え、九死に一生を得て帰国す)がここに住む。国宝五重小塔、本尊十一面観音立像を拝観し、イケメン住職の法話を聴く。

平城宮跡の領域に足を運ぶ。今日のハイライト、川辺家、溝辺家を訪問する。

川辺家では藤原氏の末裔として、一卷の家系譜を拝見する。座敷一杯に長々と家系に歴史の重みが伝わってくる。大仏再建にも関わった大僧正 隆光大師の名がある。

溝辺家に入ると、玄関に条幅の絵図面が壁面を飾る。先代 文四郎氏は、平城宮跡再興の立役者 棚田嘉十郎氏と組み、幾多の困難を経て、今日の大極殿の再建を実現させた功労者でもある。

この地域は曾て超昇寺村と言われ栄華の時代があったと聴く。保存された古文書 奈良の有名寺院の古瓦など先哲たちの熱い思いを感じたひとときであった。

鈴木・古川 両氏に感謝、感謝。反省会では当会にも歴史・文化クラブ誕生の声が聴かれた事を付記しておこう。



佐保川の川床に大仏鉄道橋脚の基礎が見える

ならやまプロジェクト・レポート 23年5月

4月28日(木) 晴一時雨 参加者40名

里山グループは北面の整備、「ならやま自然の森」では、パトロール路の整備。急斜面に階段敷設工事に着手、約70%進捗した。

筍の最盛期で33本収穫。全員のセリで順次引き取られた。椎茸と合わせて1万4千円のカンパが集まり、プロジェクトは今年度も順調な滑り出しである。

4月29日(金)

シニア自然大学校水生生物科から5名来訪。

水温・水質、生物定量調査を実施。

オオミズスマシの幼虫から成虫までの発生が確認、引き続きピオトープの調査継続の申入れがあった。オオミズスマシについては、京都大学理学部の学生からも、研究調査の打診があった。

田圃にはコチドリが現れ、水中ではドジョウの産卵行動も見られた。

↓コチドリ



5月5日(木) 晴 参加者35名

今年最後の筍の収穫、全員の競争入札で完売。上出来の椎茸も含めて、ほのぼの基金の出来高は8千3百円、ご協力多謝!

茄子クラブ 実働開始。予てからたっぷり堆肥を施し土づくりした畝に、80本の苗を全員で植え付ける。添え木、虫よけの囲い等、今年こそと意気込み十分。水当番を割付けてシーズン・イン。

5月12日(木) 雨天のため活動中止

5月13日(金) 晴 参加者10名

12日の活動日は雨で流れたが、季節は待ってくれない。急遽、農園グループの呼びかけで10名が集まり、鳴門金時504本、紅あずま140本、計644本の植付けを行った。手厚くモミガラ燻炭と敷き藁を施し完了。

午後は佐保台小学校用の田圃では、代掻き、畔塗りの準備が急ピッチで進められた。



5月19日(木) 晴 参加者37人

今日は「臨時山の日」&「臨時アグリデー」。

5月からは、シニア自然大学校の教育実習生を迎える週の木曜日は全て「臨時山の日」と決まった。

一方、農園グループも茄子や豌豆、そして馬鈴薯などの成育に伴う作業が必要になって、急遽作業することとなり、普段の活動日並みの37人が集まり、作業がはかどった。



(藤田 記)

ならやま里山林自然観察レポート

ならやま里山林花だより

吉村 さつき

5月12日、新緑の頃の木々の美しさは格別です。葉の緑が幾色も重なりあいみているだけで清々しい気分になります。

野の草は小さな花をつけています。ルーペで覗くスイバの花がこんなに可愛いのかと驚きました。スイバは雌雄異株で雄花は緑色の萼片からなり黄色の葯が垂れます。雌花は3個の花柱からなり、柱頭はふさ状に細裂します。

酸い葉・茎や葉に酸味があることから名づけられました。

スイバの花



草花*スイバ・ギシギシ・ノミノフスマ・ハコベ・ウシハコベ
ムラサキサギゴケ・トキワハゼ・カラスノエンドウ・
カスマグサ・スズメノエンドウ・ヤエムグラ・トウバナ
コオニタビラコ・オニタビラコ・イヌガラシ・オオジシバリ・オヘビイチゴ・
アメリカフウロ・ウラジロチチコグサ・ハハコグサ・オオバコ・ヘラオオバコ・
ニオイスマレ・タチツボスマレ・オオイヌノフグリ・タチイヌノフ
グリ・ゲンゲ・シロツメグサ・マツバウンラン・ケナシマンテマ・ヤブジラミ・
カサスゲ・ナガミヒナゲシ・シャガ・

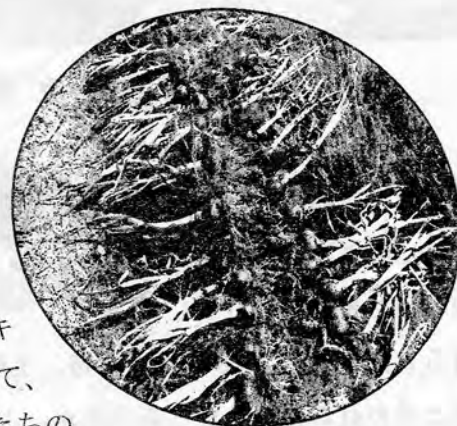
木の花*カマツカ・ナワシログミ・サワフタギ・コバノガマズミ・ツクバネウツギ・
クサイチゴ・ノイバラ・クロバイ・コナシ・カエデ・コナラ・モチツツジ・

花壇*ヤグルマソウ・キンセンカ・ショカツサイ・ナデシコ・ニゲラ・アヤメ・
スズラン・シラン・アイリス・ドイツアヤメ・紅白アスター・
ヒメウツギ (木本)

ならやま鳥だより

小田 久美子

5月9日(月)7時(夏時間)から菊川さんと二人で回り、13種55羽カウントしました。「吉田儀助翁碑」「鳥観台」「シイタケ栽培の上」でキビタキが盛んに囀り、カラスたちが喧しく鳴き立て、カルガモ夫婦がビオトープにいました。新婚さんたちの子育ての季節です。3年目の春に始めてクロバイの花に気付きました。



『佐保自然の森』 桜の木の下で

川井 秀夫

4月11日。忙中の閑日。独りでぶらりと桜見物に出掛けて見ました。今年の桜は開花も遅れましたが、例年になく花持ちが良く、絶好の花見日和に恵まれました。

近鉄 新大宮から佐保川堤へ、十年程前まだ世間に余り知られていない頃から毎年の様に訪れていますが、今年は東北地方の大災害があり、地元のお祭りも自粛ムードで静かな花見を楽しんで来ました。

佐保堤を往還のあと、24号線を北へ20分ほど、不退寺の前を通り抜け、わが「佐保の森」を訪ねて来ました。まばらな住宅地を抜けると、その領域に入ります。我々が灌木を取り除き、業者による整地が進み、見違える程、らしくなっておりました。

特に、我々が残した一本のソメイヨシノが満開の姿を惜しげもなく、我が世の春を謳歌して、孤愁端然とした姿に暫し腰を下ろし、春の息吹を実感致しました。

今年十一月には育樹祭に因み、花木が植栽されます。桃か栗か柿か杏か素晴らしい花苑の誕生が待ち遠しくなってきました。機会があれば、原風景を訪ねて見て下さい。



佐保自然の森



<茄子畑>

『茄子クラブ』 四年目の挑戦

ナスの栽培を初めてはや丸三年。自然農法に徹して来ましたが、虫害に脅かされ人為の力不足に嘆きを託つ日々が続きました。今年は周囲から励ましの声もありラストチャンスに取り組む事に相成りました。

5月5日。千両二号80株、植苗。土壌のマルチング、藁敷による保温・雑草防止、新聞紙と竹の行灯による風と霜害防止。土づくりも冬場から入念に鋤を入れ、万全を期して来ました。今年はプロはだしの萱野 勉氏が助っ人として先頭に立って頂き、いろいろな手法を実践していただいております。これからの水やり・追肥・草取り・整枝・吊り手と日常管理が大変です。メンバーの方々のご助力をお願い致します。

近くのジャガイモ畑には害敵（おもにテントウムシダマシ）がすでに発生しており、ナス畑への飛来は避けられません。秘策はあるのか、秘策ありと。夏場の豊かな収穫はこの一点にありと言うところです。

益虫一家テントウムシの面汚し

—やさしい昆虫講座（第8話）—

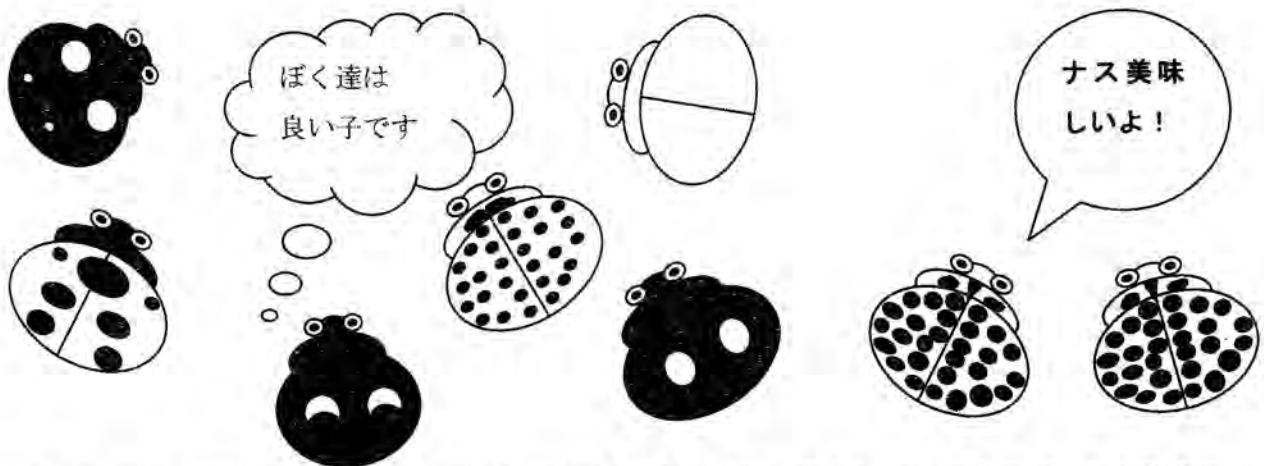
木村 裕

当ならやまのナスクラブのメンバーを悩ますテントウムシダマシの季節がやってきました。テントウムシと言えばアブラムシを食べてくれる有益な昆虫を想像しがちですが、少しばかり異端者（虫）もいます。28個の黒い模様を持っているので、由緒正しい名前はニジュウヤホシテントウですが、テントウムシでありながらナスの葉を食い荒らすのでテントウムシダマシという名前を頂戴しております。ナスが大好きですが、ピーマン、トマト、ホオズキ、ジャガイモ、ダチュラなどの葉や果実を親子ともども美味しく食べます。幼虫は黄白色で、柔らかい虫ですが体全体を黒い刺状の突起で武装しています。みるからに「触るな!」「痛いぞ!」という格好をしています。毒はありません。

石垣、落ち葉、草むらなどで越冬し、4月頃に目を覚ましてまずはジャガイモを目指します。この頃は他に食べ物はありません。やがて好物のナスが植えつけられると誘いあわせて引っ越してきます。そこで卵から幼虫、蛹を経て1ヶ月くらいで新しい成虫となります。成虫はかなり長生きするようで、春から夏にかけていつも成虫と幼虫が見られます。

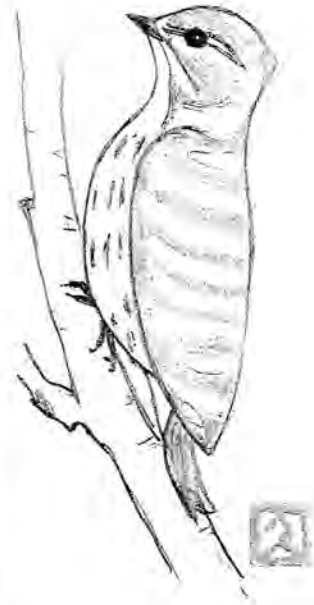
中国山脈から京都府、長野県、福島県と横に引いた線の北側の地域では黒い紋の大きなオオニジュウヤホシテントウと入れ替わります。その境界線に当たる大阪府の高槻市北部ではオオニジュウヤホシテントウがいます。

また、京都北部の山地のアザミにはもっと大きな黒い斑紋のあるヤマトアザミテントウがいます。以上3種がテントウムシダマシの悪玉三銃士です。しかし、最近関東地方にインゲンの葉を食べる16個の黒紋をもったインゲンテントウが海外から密入国し、勢力を広げています。関西では幸いなことにまだ見つかっていません。



食べ物がナス科植物（雑草のイヌホオズキにも付きます）に限られていますので、ならやまのような隔離された畑では、春季に飛来する成虫を片っ端から捕まえばその後の発生はかなり少なくなります。ジャガイモ、ナス畑を戦場にして攻撃することが最大の防御となります。成虫は数十個の黄色の卵を一塊にして葉裏に産みつけますのでこれも見落さないようにしてください。成虫を押しつぶすと黄色の汁が指につきますが、害はないようです。葉が揺れ動いたり、人の殺気を感じると手足を縮めて葉から転がり落ちる奥の手があるので取り逃がさないようにしてください。今年、ナスクラブかテントウムシか、どちらが勝利を収めるのでしょうか?

「コゲラ」は冬の混群の時でも、単独でも、いつも「ギー」と鳴きながらのんびり移動しています。ならやまでも通年見られ、姿が見えなくても皆さん良くご存知の鳥です。人を怖れないため人家の庭にもやって来ては「来たよ・ギー！」と挨拶。日本にいるキツツキで一番小さい、薄茶と白のシマシマがお洒落なスズメ大の鳥です。英名は Japanese Pygmy Woodpecker(日本にいる小さなキツツキの意)、種名の中に「kizuki」とあるのは記録した標本の採集地が豊後の杵築だったことから付いたそうです。4月末機関紙印刷の日、大淵池を通ると朽木に入るキツツキを見かけました。暫くすると別のコゲラと入れ替わったので、こ・れ・は子育てかとしばし観察していました。そして帰り道お弁当を頬張りながら待ちましたが、一度姿が見られたまま。午後もう一度出直したり、日を改めて何度か行ってみたが見られな〜い。親の姿もヒナの声も無い。もう2週間、卵を抱いている最中なのか。。。失敗だったのか。。。



ちいきじょうほう

- ★我がならやまのビオトープの池に、カルガモのつがいに来て田んぼや溝などで遊んでいます。5日は1羽だったらしいのですが、8日は仲良く雌雄です。(西谷)
- ★5月3日散歩の途中 西明日香で午前8時半ごろフクロウのホッホウ ホッホウという声を聴く。
- ・5月19日午後4時頃 御所の畑で葛城山方向からホトトギスが「キョッキョッ キョッキョ！」 去年と同じ日に来てくれたんだとうれしくなる。
- 同日 午後5時同じ場所 私は熱心にネギの草引き・・・と突如後ろでバタバタッと羽ばたく音！なんとみのキジが飛び立った！お互いの存在に気が付かず無中になっていたんだ

きつと。キジはエンドウが好物で低い部分になってるエンドウはちょうどキジの嘴の位置になるようで莢も実も食べるけど あちこち食べ残して行儀が悪いの。(斎藤)

- ★5月8日斑鳩三室山近くの竹やぶでツツドリを見ました。初めはホトトギスかと思いましたが、ポポ ポポと鳴いてくれました。ツツドリでした。なかなか姿を見せてくれない鳥ですが、幸運でした。

- ・竜田川で鯉が瀬擦り(せざり)をしていました。浅いところでメスの産卵を促すようです。(勝田)



鯉の瀬擦り



春に恋して

谷川 雅邦

目覚めたこの緑色の街に
健気にあなた色に染まる
そよ風に揺れる花びらが
野辺の花舞台は艶やかで
虹色の春の歌声は澄んで

遅咲きの春の衣裳が
華やいで潤むその姿
恥じらいて清々しく
香しき甘い匂い漂う
小鳥は雲と戯れ踊る



自然をちよっぴりいただきます〜す 西谷範子

春は山菜の季節。野や山が芽吹き始める頃、私達の祖先が自然を敬いながら、その恵みをいただいたように私達も少しだけその幸せをいただきましょう。

竹の子 4月は孟宗、5月は破竹、そして6月は真竹の季節。肉厚な孟宗の旨みとは別に真竹のやわらかいやさしい旨み。破竹も似てはいるが、真竹が一番好きという人もいる程。

真竹を沢山入手できたら、お寿司を作ってみましょう。

タケノコをきざんで入れるちらし寿司ではありません。

中ぐらいの太さのマダケを縦半分に分けて、中の節の部分のお皿を切り取ります。

そうトユみたいなのを作って茹でます。長さは巻き簾より短ければどの位でもいい。

これを薄味で煮てさませます。

ご飯は普通のすし飯のように合わせておきます。

巻き簾にラップを敷いてマダケを乗せて中にすし飯を詰めます。ラップを海苔のかわりと思ってくると巻いて少しおいてなじませます。

1cmか1.5cmの輪切りにして、笹を敷いたお皿に盛りましょう。ちょっとした変わり寿司です。

真竹の皮は孟宗竹のように毛深くなく、細長いので保存用に竹の皮を作りましょう。

竹が伸びていくに従って皮をはらりと落としていきます。これを両面タワシで洗って、少しなら両側を洗濯ばさみではさんで竿にぶらさげて干します。乾いたら重ねて紙にはさんで、重石をかけておくと平らな竹の皮の出来上がり。

1年中いろいろな用途に使えます。



早熟の猩猩袴を思ひけり

川崎 和江

早春。どこかで見たショウジョウバカマの群生を思ふ。
作者は何を想起したのだろうか。卒業式の少女の姿だろうか。

れんげだ
紫雲英田やでこぼこの土柔らかき 川崎 和江

レンゲやウマゴヤシは鋤きこむと緑肥になる。
春田の土は柔らかく、今年も豊かな実りを約束してくれる。

しとね
茄子畑に葉の褥と飯行灯 川井 秀夫

植苗了える。マルチングと藁敷き、竹の四本柱に新聞紙の覆い、
例年になく世話びとたちの心が伝わる。

竹の子に呼びとめられし男あり 川井 秀夫

今年の筍は不作気味。探すのに一苦勞。竹の子に呼ばれて在所に
気づく。筍掘りの比喩の一句。

お屋敷のお室覗く遅日かな 川井 秀夫

4月例会。ならやまの古代史探訪。旧家の家宝を鑑賞する。
春日遅々。素晴らしき一日となる。

おずおずと佐保姫祀る社の奥 川井 秀夫

こんな所に佐保姫（春の女神として季語）の墓。
悲しいロマンが胸を打つ。



笹：やあやあそこなる里人よ。聞きたきことあるによって、しばらくしばらく。

里人：そなたは誰ぞ？とんと見なれぬ風体で御座る。

笹：わしは長年ここに群生しておった笹の長の霊である。近年になって多くの仲間が有無を言わず、刈り取られ、未だ成仏できぬとさまようおるによって、何としても救ってやらねばならぬ。

里人：それは真にもってお気の毒であった。これには、人間の欲得だけでの事ではなく、この里山に住む動植物の暮らし、そして何としても山の活性化をと考えての事。よくよくお察し下され。

笹：そのために我等だけが犠牲にされたのか？

里人：いやいや、ここはかつて田畑であった所、また遊歩道の脇でゴミ捨て場ともなり易く、諸々のこと考えて刈らせて頂き申した。山中に於いても同様、生き活きさせるため多くの木を伐らせて頂き、整備され美しい山となつてござる。

里人：いやい

やここはかつて田畑

であった所、また遊歩道の脇でゴミ捨て場

ともなり易く、諸々のことを考えて刈らせ頂き申した。山中に於いても同様、生き活きさせるため多くの木を伐らせて頂き、整備され美しい山となつてござる。

笹：よく分かり申した。我等もこの地を守つて来た事無駄ではなかった。また去ることによって本来の里山風景となった。この事、誇りを持って成仏できる様、よく話して聞かせるとしよう。

里人：ナマンダーブ ナマンダーブ

～今は 昔～

竹本 雅昭



原稿募集のお願い

「地域情報」

あなたの住んでいる地域のホットな情報

「お元気ですか」

内容は自由です
400字以内

「短信」・カット

写真など
どんなことでも

★1行40文字 ★11ポイント ★明朝体 ★毎月20日締め切り
★役に立つ、楽しい会報誌になるよう皆さまのご投稿を待っています。

行事案内

※原則：前日午後7時前のNHK天気予報で、降水確率(午前)60%以上の場合は中止

※当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません

『ならやま里山林プロジェクト6月・7月の予定』

- 場所： 奈良市奈良阪町・佐紀町の県有林（JR平城山駅下車徒歩10分）
—「ならやま会館」前の道路（ならやま大通り）の南側に広がる林地—
- 日時： 6月 2日（木） 活動日（佐保台小学校田植実習～予備日7日）
6月 9日（木） 活動日
6月16日（木） 臨時山の日
6月18日（土） 活動日（教育実習生受入）
6月23日（木） 活動日
6月30日（木） 雨天予備日
7月 7日（木） 活動日
7月14日（木） 臨時山の日
7月16日（土） 活動日（教育実習生受入）
7月21日（木） 活動日
7月30日（土） 里山の昆虫（公開イベント）
7月31日（火） 雨天予備日
- 集合： 現地ベースキャンプ地 9時 終了予定 3時
- 交通： ①近鉄奈良駅 バス13乗場8：23発 高の原行（平日・土曜）
②近鉄高の原駅 バス1番乗場8：32発（平日）8：30発 JR奈良行（土曜）
①、②とも佐保台西口、または平城大橋で下車 徒歩約7分
- 携行品： ・弁当、飲み物、軍手（作業用具は現地にて用意）
*環境保護のため、コップ・箸・椀などは各自でご持参下さい。
- 活動内容： ・里山整備、環境整備、花木植栽等の景観形成、植生調査、椎茸作り
・復元した田畑での「旬の野菜・健康野菜の有機栽培」、堆肥作り、土作り
・「市街地にある里山」を体験する各種イベント、学校授業「田圃の教室」
・広域里山パトロール（保全、ナラ枯れ点検、生物調査など）
- 連絡先： 古川（祐） 、 鈴木 藤田

★ならやま・バードウォッチング

☆日 時： 6月13日(月) 7:00 集合

★集合場所： ならやま駐車場

☆小雨決行：判断の難しい時は担当者に問い合わせてください。

★担当者：小田（ ） ・菊川（ ）

6月例会 初夏の矢田丘陵を歩く

アジサイの矢田寺と豊かな自然の矢田丘陵を楽しむ

1. 実施日:6月15日(水)
2. 行き先:矢田寺から大和民俗公園
3. 集合:奈良交通バス 矢田寺前バス停 10時
①近鉄郡山駅より9時35分発の矢田寺行き バス (9時55分着)
②JR大和小泉駅より9時15分発の近鉄郡山駅行き→横山口で下車、20分ほど歩いて矢田寺前へ
4. 行程:矢田寺入山→アジサイ鑑賞→東明寺→こどもの森→昼食と休憩→邪馬台国想定 of 碑→大和民俗博物館→博物館見学後14時半頃 解散
その後は自由行動で公園内の民家集落・ハナショウブなど自由観察
(注)①大和民俗博物館は65歳以上無料なので、該当者は証明書類を持参する。
②帰りは矢田東口から近鉄郡山 あるいは JR大和小泉行きのバスに乗る。
5. 持参するもの
食事、飲み物、ループ、双眼鏡、雨具、ストック(登りに若干きついところがある) 以上
(参考)



近鉄郡山駅バス乗り場 駅東口を出て北東へ徒歩5分ほど 市営駐車場に隣接
奈良交通バス①番乗り場 (矢田寺・JR小泉駅方面)

JR大和小泉駅前バス乗り場 JR大和小泉駅東口
奈良交通バス東口①番乗り場(近鉄郡山駅方面)
担当:倉田、森



6月オプション行事 東海自然歩道・柳生街道を行く

柳生の里までバスに乗り、柳生藩家老屋敷→芳徳寺→柳生一族の墓→正木坂道場→柳生藩陣屋跡(昼食)→阪原峠→南明寺→山口神社→忍辱山円成寺よりバスにて近鉄(JR)奈良駅に向かいます。

日時 : 6月28日(火曜)

集合 : 近鉄奈良駅 ④ バス乗り場に9:30集合 9:40発の邑地中村(柳生)行きのバスに乗ります。近鉄奈良駅西口5番出口が一番近いです。

JR奈良から乗車される方は6番乗り場 より同じバス 9:37発に乗ってください。

約8キロのややきつい行程になりますが、最後の円成寺まで歩くグループと柳生の花しょうぶ園を楽しみ、途中の大柳生よりのバスで帰るグループに分かれて行動したいと考えていますので安心して参加してください。(昼食時グループ分けを行います)

前日、NHK 18:56 の奈良県北部の天気予報の降水確率が60%以上の場合は中止。

担当:菊川年明 板橋宏昌

<7月の予定>

7月例会 「府民の森・鳴川園地」

役の行者ゆかりの地の千光寺、清滝石仏群を経て、山上の鳴川園地でのんびりしましょう。

実施日：7月13日(水)

集合時間・場所：9時30分、近鉄生駒線「元山上口」駅

担当：豊島、木村

*詳細は会報第114号(7月号)でお知らせします。

平成23年5月度幹事会報告

日時：平成23年4月26日(火) 18:00~20:00 出席者：幹事・顧問全員。 奈良中部公民館

- (1) 会員数133名。
- (2) 平成23年度総会に関する討議・確認。
- (3) 5・6月の行事予定の確認。

表紙のペン画によせて

境 寛

この表紙ペン画も、昨年7月号京都南山城の茶畑から、ちょうど1年になりました。季節に応じた絵が手持ちにある時は、余裕でお送りしていましたが、最近では締め切りに追われるようになってきました。

さて、今月は趣きを変えて野菜を描いてみました。キャベツは年中出回っていて季節感がないのですが……。キャベツ(英語 cabbage) アブラナ科アブラナ属の多年草。野菜として広く利用され、栽培上は一年生植物として扱われる。名前は英語に由来するが、さらにその語源はフランス語の *caboche* (頭) から。別名の甘藍(かんらん)は中国語名の甘藍(*ganlan*)から、玉菜(たまな)は結球する性質に由来する。日本での普及は、幕末の1850年代に伝わり、明治にかけて外国人居留地用として栽培されたが、一般の日本人が口にすることはなかった。1874年、内務省勸業寮がのちの三田育種場で欧米から取り寄せた種子で栽培試験を行ったのが、本格的な生産の始まりとされる

(Wikipedia より)

編集後記：*14日第10回総会が無事終了しました。引き続き皆様のご協力をお願いいたします。*本号から新しく野草料理シリーズ「自然をちょっぴりいただきま〜す」が始まりました。皆さんも一度家庭で試みてください。会報誌もさらに内容の豊富なものになっていきます。お楽しみください。*会報発送作業・編集会議日：7月号の作業は6月27日(月)午前9時から「西奈良ボランティアセンター」で行います。何かとお忙しいでしょうが、ご協力お願いいたします。

奈良・人と自然の会：]

編集担当：勝田 均

TEL&FAX